

講義名	ブラッシュアップ中国語			授業形態	
担当教員	森 宏子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

すでに「言語と社会」、「中国語A」、「中国語B」などで学んだ中国語にみがきをかけ、さらに新しい語彙や文法を積み重ね、中国語の基礎をよりまとまりのあるものにしていきます。レベル的には、中国語の初級から中級への橋渡しの位置づけになります。会話だけでなく講義文もありますので、中国語の総合的なレベルアップが期待できます。

到達目標

- 平易な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができるようになる
- 平易な文の意味を理解でき、書くことができるようになる

中国語検定試験のレベルを目安とすると、4 級レベルの中国語に相当します。検定試験 4 級にチャレンジできる力をつけます

提出課題

授業でやり残したドリル

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間試験は返却した上で講評します

評価の基準

次の点を総合的に判断します
 平常点（出席状況、受講態度） 20％
 中間試験と期末試験 80％

履修にあたっての注意・助言他

すでに中国語の学習経験がある人を対象としています。中国語入門者向けの授業ではありませんので注意してください。中国語が初めての人は「中国語A」や「中国語B」を履修してください。必ずテキストを購入し、授業に臨んでください。受講態度として評価の対象とします。留学生の人は、日本語で中国語を学ぶことを理解した上で、履修して下さい。

教科書

.さあ、中国語を学ぼう！ 会話・講義 改訂版。	白水社	竹島毅・趙昕	2500	9784560069424
-------------------------	-----	--------	------	---------------

参考図書

.必要に応じて案内します。

その他

授業計画

- 授業案内、ウォーミングアップ
予備：1課-5課に目を通す（2時間）/復習：1課-5課の知らない文法や単語を自習する（2時間）
 - 第6課 会話：今天的課都完了吗？
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第6課 講義：喝卡拍OK
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 - 第7課 会話：你吃饭了吗？
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第7課 講義：去海边儿
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 - 第8課 会話：你爬过富士山吗？
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第8課 講義：喜欢北京
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 - 第9課 会話：你在干什么呢？
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第9課 講義：学开车
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 - 第10課 会話：你有什么爱好？
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第10課 講義：取证书
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 - 第11課 会話：这双鞋怎么样？
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第11課 講義：动漫
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 - 第12課 会話：祝你生日快乐！
予備：テキストに目を通す。会話文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 - 第12課 講義：买衣服
予備：テキストに目を通す。講義文の音声聞き、音読する（2時間）/復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
- 予備：13課、14課、15課
 テキストは6課からスタートします。学期の半ばで中間試験を実施します。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考